



## 【PROFILE】

- 1986年北海道大学工学部土木工学科卒業
- 同年4月㈱リクルート入社
- 2003年6月㈱プロジェクト地域活性設立、代表取締役社長に就任
- 経済産業省・農林水産省の各委員、仙台ビジネス産業コーディネーター
- 2005年4月より東北大学大学院経済学研究科経済経営学専攻（社会人特別減価）に在学し、もっか短期中
- 趣味 マラソン、カラオケ
- 座右の銘 自らチャンスを作り出し、チャンスによって自らを成長せよ！

# 人は「財（たから）」。「人財」をキーワードに東北発「日本を元気にするプロジェクト」の実現を目指す。

Top's Interview

【トップインタビュー】

## 会社DATA

設立 2003年6月

【資本金】 1000万円

【従業員数】 8名

【売上高】 1930万円（2005年5月期）  
6350万円（2006年5月期見込み）

【所在地】 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AERBF

【事業内容】 人材の戦力化による地域産業の活性化と創造、観光・ツーリズム・食産業の振興、地域ブランドの創出とプロモーション、個人のキャリア開発と企業の活性化等を通じて東北地域そして日本の活性化を実現することを目的とした事業

## ◆リクルートを卒業して起業、自らの夢を追いかける。

プロジェクト地域活性の社長、望月孝氏はリクルート出身。組織活性化事業部課長、HRD事業部課長、地域活性事業部マネージャー等を歴任し、首都圏の大手・中小・ベンチャー企業・中央省庁等の組織と人材の活性化、経営者から内定者までの人材開発をブランニング、また経済産業省・国土交通省・農林水産省、東北各県・市町村等の事業を受託し、東北の地域と人材の活性化に邁進したキャリアを持つ。「平成15年6月リクルートが地域活性化部を廃止したのを機に、リクルートを卒業し、自

らの志の実現を目指して、プロジェクト地域活性を設立しました。リクルートでの経験を活かして、人材と組織と地域の活性化を支援する企業として起業し、経済産業省・国土交通省・農林水産省等、国からの委託事業が約7割、宮城県等、東北各県からの委託事業が約2割、仙台市等、東北の市町村からの委託事業が約1割という売上構成となっています。当社は、調査・計画の策定にとどまらず、実際に人が動く、育つ、組織が元気になる・変わる、地域が活力を持ち、動き出す」ということに重点を置き事業を運営していま

す。当社はコンサルではなく、地域活性化支援サービス企業を目指しています」。

平成17年度経済産業省のモデル事業の若年者就職支援センター「みやぎシヨブカフエ」の仕事では、全国初の「宮城モデルの人材育成システム」の構築に携わっている。「当社が手がけているのは、企業がアルバイト・パート等の戦力化を図る人材戦力化モデルを構築し、宮城県内の企業へ導入すること。若者がアルバイト・パート等で働きながら能力や経験を蓄積し、キャリアアップをしていく仕組みづくりです。少子高齢化により地域産業の担い手である若手が減少していく中で、フリーター問題を解決し若者を育成・戦力化して、東北各地域の活性化や将来の産業を担う地域プロデューサーに育てていきたいと考えています」。

## ◆自身の地域を愛する「人財」が地域ブランドを創る。

人材事業と並ぶ同社のもう一つの柱が地域活性事業である。「仙台に来てから5年半になり、東北には自然、一次産業、食、観光等、全国に誇れる資源があります。これらの資源に付加価値

値をつけてブランド化し、全国に情報発信していくことを東北地域活性化のキーワードとしてお手伝いしてきました。現在まで東北の様々な地域で地域ブランドの創出をお手伝いして気づいたことは、地域の資源の魅力を発掘して付加価値をつけるのも、情報発信してブランド化するのも、全て自身の地域を愛する住民・事業者・行政担当者といった人財であるということ。今後各地域が、人財を育てたり、ツーリズム（交流）やU・J・I・ターン等で確保することが、地域が勝ち組になる最大の条件となるはずですよ」。

## ◆民間企業・大学・行政と連携し、プロジェクトで事業を推進。

同社の経営戦略の柱に、連携や提携がある。今年度、民間企業8社・宮城県と一緒に食産業や地域ブランド開発のコンサルティングを行う会社として「関FMS総合研究所」を設立した。また、「東北大学大学院地域イノベーション研究センター」の地域人材育成ネットワークに、同社の人材研究所が参画している。「これからは1社単独で事業を進めるのではなく、独自の強みを持つ様々な組織

が一緒にプロジェクトを組み、シナジーを発揮して最大のアウトプットを出していくことが求められています」。

同社ではさらに、食・ツーリズムのサイト構築に向けて、新しいコンソーシアム（企業連合）を企画している。そして今後行政からの委託事業の他に、これらプロジェクトを活かして自社事業を創出し、全国展開することを視野に入れている。

## ◆自分でルールを創れる人財。

仕事を通じて、自身の成長と自己実現が大切だという望月社長が求める「人財」とは、「常に新しいものを創っていくこととする人。フロンティアであれということですね。また、私はできる限り仕事に関して細かい指示を出さないようにしている。自分でHOW TO DO、WHAT TO DO、そしてWHYを考えていける人、つまり仕事のルールを自分で創れる人財を求めています」。

就職に関するアドバイスは、「将来の自分の夢・志の実現を見据えて仕事選びをしてほしいですね。そして、自分らしく働ける職場を選んでほしいと思います」。